た教育・市民の 第24回 **2016** 輝け!船橋の 子どもたち

分科会 9:45~11:45

(9:30受付・3階レクリューションルームにて)

	分科会	内容	世話人
1	親子であそぼう (3 F レクリューションルーム)	身の回りのにある材料を使って、楽しいおもちゃを作ろう。	木村 研 (手作り おもちゃ研究家・児 童文学作家)
2	子どもと食生活 (3F 第2会議室)	「気にしていたら食べるものがなくなってしまう」と言う人がいます。 そうでしょうか?「知って得する食品の選び方」をテーマに食品を選ぶポイントを学んで、私たちが実行することから食を広げ、子どもたちを守ることにつなげられるように一緒に考えましょう。	笹野 喜美恵 (管理栄養士)
3	親と先生のおしゃべ り会 (2F 第1講習室)	友達関係や勉強のことなど、不安を抱える子どもたち。親も 教師も忙しいけれど、まず語り合うことから、温かい学校づ くりを始めましょう。	本多 龍雄 (市内小学校教諭)
4	特別なニースのある 子どもとともに豊か な教育を (2F 第2講習室)	特別なニーズを必要とする子どもたちをどのように理解したらいいのだろう。具体的にどのように接していったらいいのだろう。長く特別支援学校で勤務された先生の話を聞くとともに、みなさんの願い・悩みなどを交流していきます。	積田 百合子 (市内小学校教諭)
5	子どもたちの放課後 を考える (2F 第1会議室)	学童保育を利用する、しないにかかわらず、小学生の子どもたちは非常に長い時間を放課後という形で過ごし、心身ともに成長します。保護者は、教育者は、保育者は、子どもたちのより良い育ちのためにどのような関わりをすべきでしょうか。ご一緒に考えましょう。	鈴木 美佳 (八千代市 学童保育指導員)
6	不登校の経験に学ぶ (3F 第4会議室)	不登校になったとき、当事者の子どもは、どのように悩んでいるのでしょうか。そして、周りの大人たちはどのように接していけばよいのでしょうか。かつて不登校の子どもを持った親、不登校を経験した若者や父母の話を聞きながら、子ども・親として学んだこと、あるいは悩んでいることについても交流します。	伊藤 書佳(父母) 秋田 匠 (不登校を経験した青年)

午後 全体会 13:00~

分科会報告 パネルディスカッション 講演「子ども時代の豊かさとは」 講師 村山士郎さん(大東文化大学教授)

船橋市勤労市民センター案内図

- ・分科会は9:30受付開始です。
- ・受付場所は3階レクリェーションルームです。
- ・受付を済ませた後、各会場に行ってください。
- 分科会開始は9:45です。
- ・第1分科会は子どもたちと参加できます。
- ・落し物、問い合わせはレクリェーションルームの全体受付(本部)の担当者にお願いします。

